

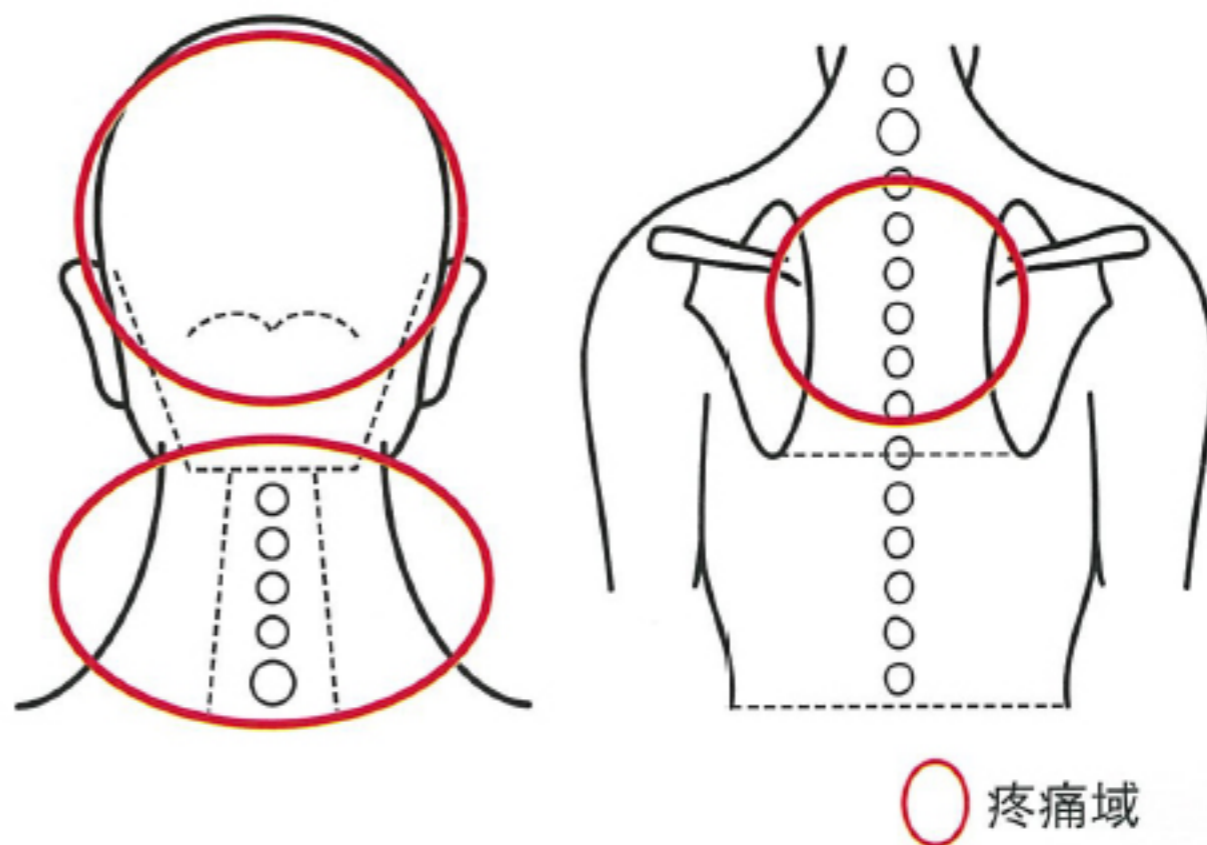
事例1

頭痛

- ◎症例：26歳 男性 会社員
- ◎初診：平成X年10月29日
- ◎主訴：頭が痛い。両頸・両肩・肩甲間部が凝り、痛い。目が痛い。

仕事でパソコンを使うためか慢性的に頭痛があり、両頸肩（肩甲間部）に痛みとひどい凝りがある。ブロック注射を20回施行されたが、これ以上多くできないと言われた。かかりつけの内科で医師に相談したところ、当院を紹介され来院した。

- ◎評価：第5頸髄・第6頸髄レベル（複数）の神経根症、頸肩の凝りに伴う緊張型頭痛と判断した。



結果

27日間、計3回のはり治療で頭痛・凝りは改善した。

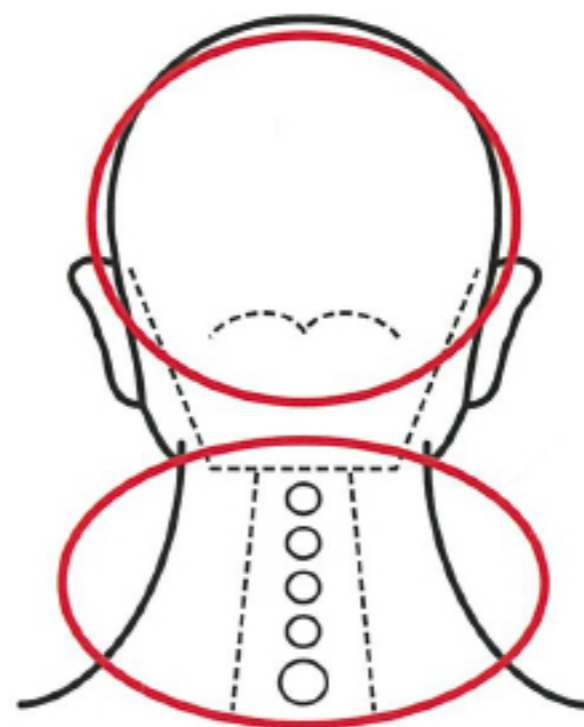
事例3

頭・頸・肩の痛み

- ◎**症例**：47歳 女性 看護師
- ◎**初診**：平成X年3月8日
- ◎**主訴**：頭・頸・肩が痛い。身体が辛い。

病院勤務で過労状態。更年期による自律神経の変調もある。頸部痛のため前日整体を試したが、悪化したため来院。以前から動悸・倦怠感・頭痛・悪心・冷え・生理痛などの身体症状がある。

- ◎**評価**：診察所見から、ストレスにより引き起こされる頸部痛・肩痛・頭痛と判断した。



○ 疼痛域

結果

6日間、計3回のはり治療で
頸部痛・頭痛は消失した。

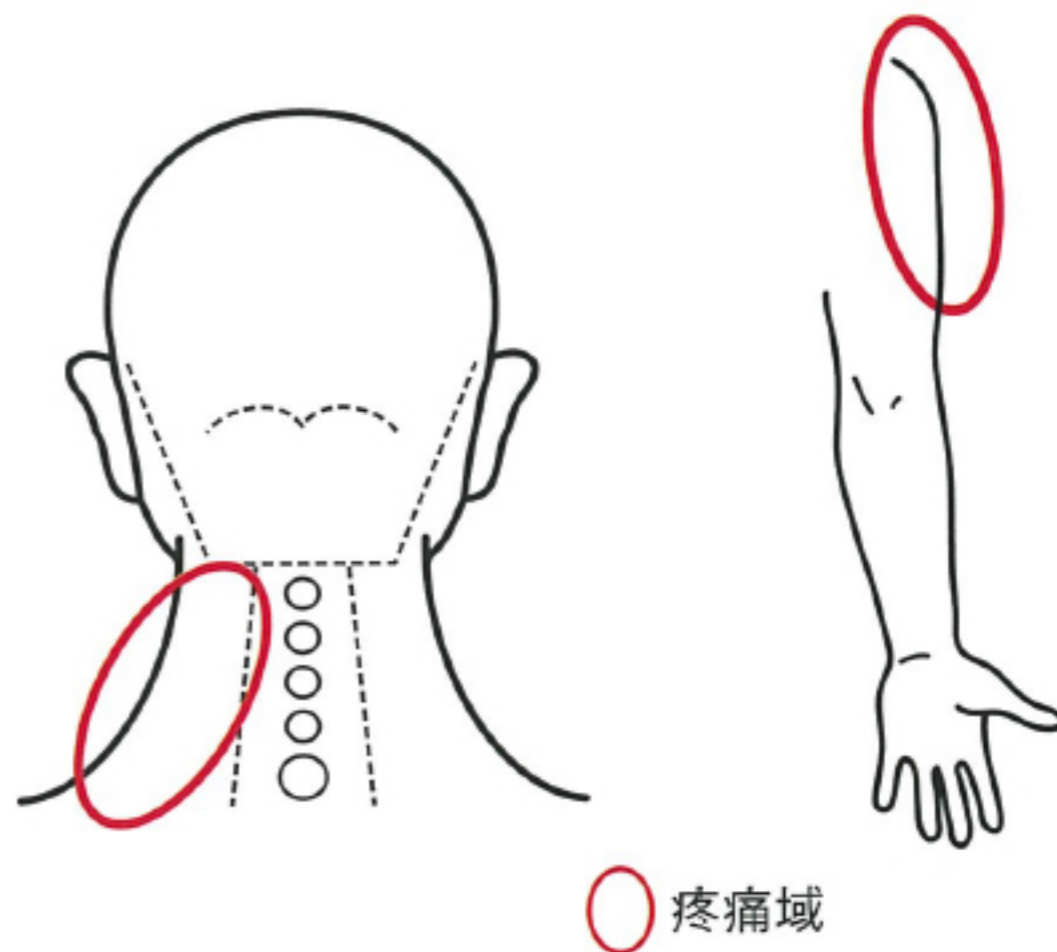
事例6

頸・肩・上肢の痛み

- ◎症例：56歳 女性 タクシードライバー
- ◎初診：平成X年3月27日
- ◎主訴：左頸・左肩・左上腕が痛い。

1年ほど前から、左頸部・左肩部に凝りや痛みがあり、左上腕外側や後側も痛む。痛みのため、車の運転やその他の日常生活動作にも支障がある。

- ◎評価：診察所見から、第5頸髄・第6頸髄の神経根症、胸椎由来の痛みと判断した。



結果

68日間、計5回のはり治療で
症状はほぼ改善した。

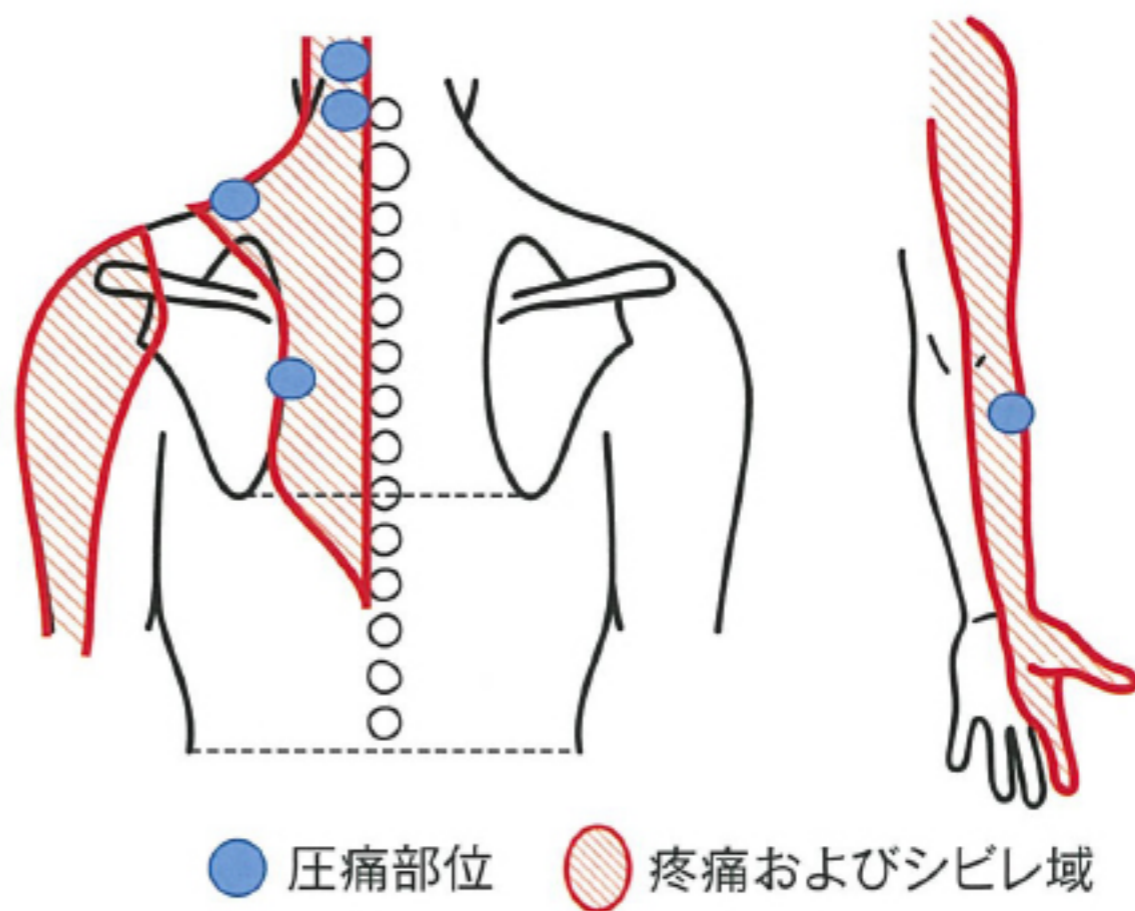
事例7

頸から腕の痛みと痺れ

- ◎症例：50歳 女性 パートタイマー
- ◎初診：平成X年11月27日
- ◎主訴：左頸・左肩が痛い。左腕が痺れる。

1ヶ月前の夜、テレビを観ている時左頸から左肩にかけて痛み出し、翌朝には左上肢にも痺れが出てきた。1ヶ月の間に20回ほど接骨院でマッサージと電気治療を受けたが改善しないため来院。頸の運動による症状の増悪がみられる。

- ◎評価：現病歴・診察所見から、第5頸髄・第6頸髄神経関与の頸椎性神経根症と判断した。



結果

10日間、計3回のはり治療で
症状は緩和した。

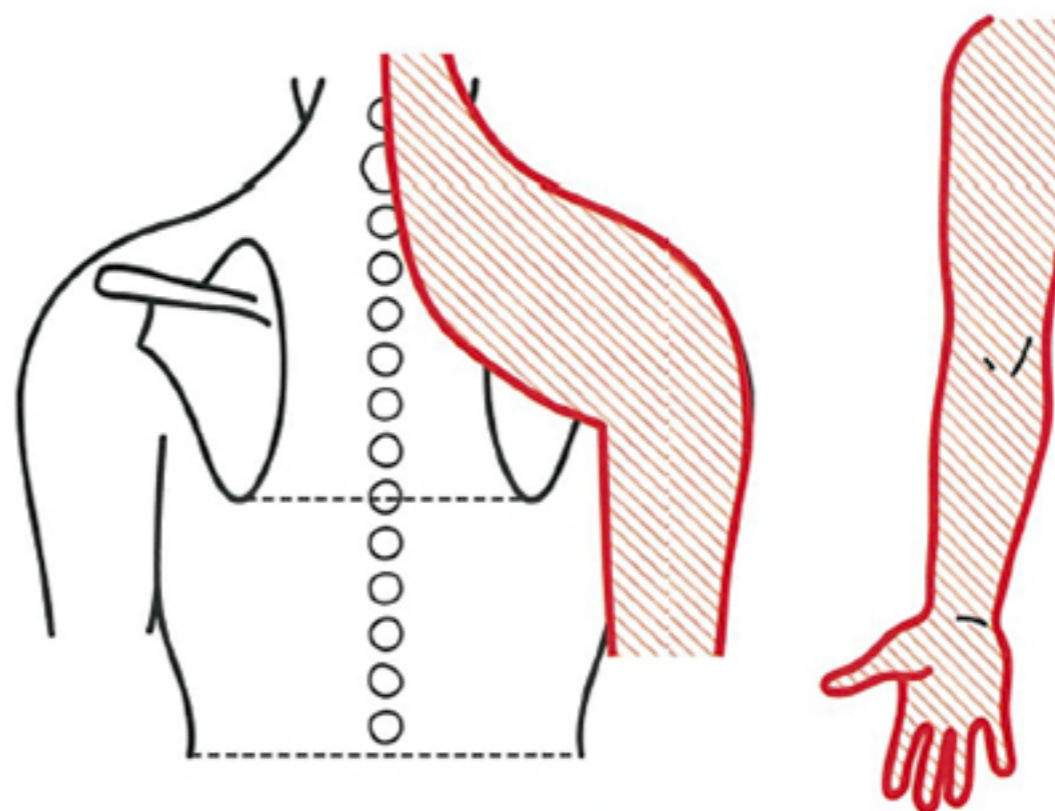
事例8

頸から腕の痺れ

- ◎症例：58歳 男性 自営業
(サッカーコーチも行う)
- ◎初診：平成X年6月2日
- ◎主訴：右腕が痺れる(ビリビリする
感覚)

サッカーのヘディングやウェイトトレーニングが原因か、1年ほど前から右頸・右肩・右腕が痺れる。痺れはビリビリする感覚で安静時にもみられるため、夜は眠りが浅い。

- ◎評価：第5～7頸髄レベルの脊柱管狭窄等による複数の神経根障害の他、肘部管での絞扼・肘関節外側での絞扼、さらには絞扼型の胸郭出口症候群や筋膜炎などが合併している可能性があると判断した。



● 疼痛およびシビレ域

結果

40日間、計6回のはり治療で
症状はほぼ改善した。

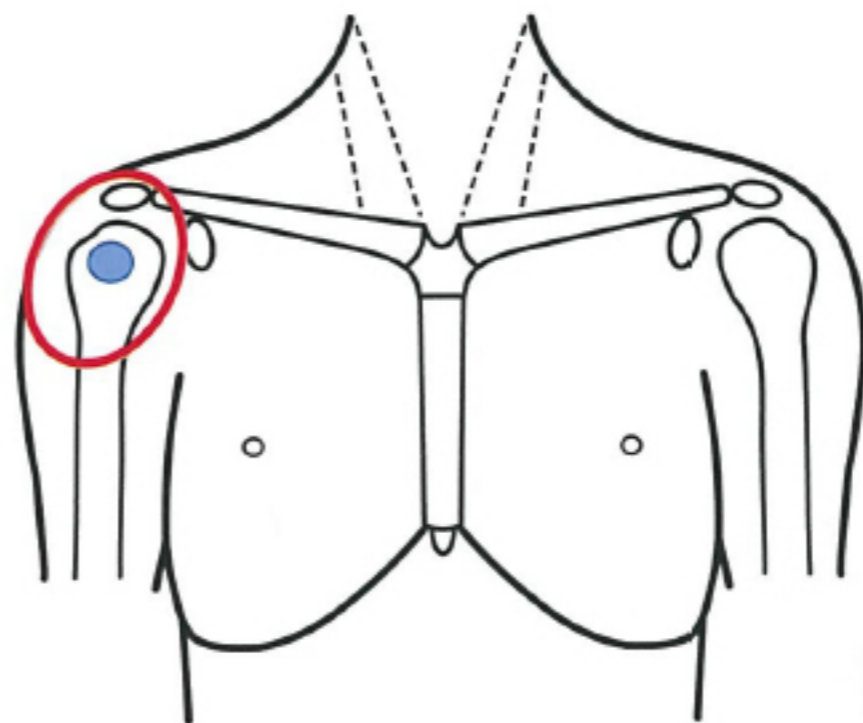
事例10

肩の痛み

- ◎症例：36歳 女性 事務職
- ◎初診：平成X年1月30日
- ◎主訴：右肩が痛い。右腕が挙げられない。

身長163cm、体重53kg。5日前、パソコン作業中、右肩が張ってきたため後ろ回しに両肩を回した際、右肩前面に軽い痛みを感じた。痛みで腕が挙がらない状態が続くため来院。

- ◎評価：臨床症状・診察所見から、上腕二頭筋長頭腱炎と判断した。



- 圧痛部位
- 疼痛域

結果

17日間、計7回のはり治療で、肩を動かしても痛みが出なくなったため完治とし終了した。

事例15

手首の痛み

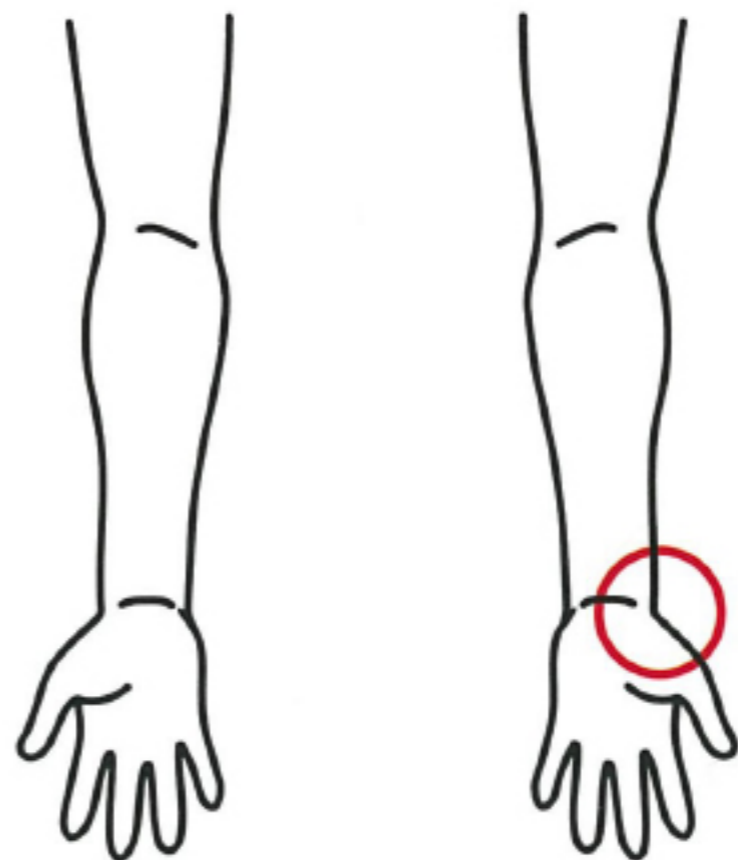
◎症例：64歳 男性 会社役員

◎初診：平成X年9月29日

◎主訴：左手首が痛い。

約2ヶ月前から左手をついた時などに痛む。整形外科で腱鞘炎と診断されステロイドも使用したが、あまり改善していない。

◎評価：整形外科でも診断された通り、左手首橈側腱鞘炎と判断した。



○ 疼痛域

結果

15日間、計3回のはり治療で
症状はほぼ消失した。

事例16

腰と背部の痛み

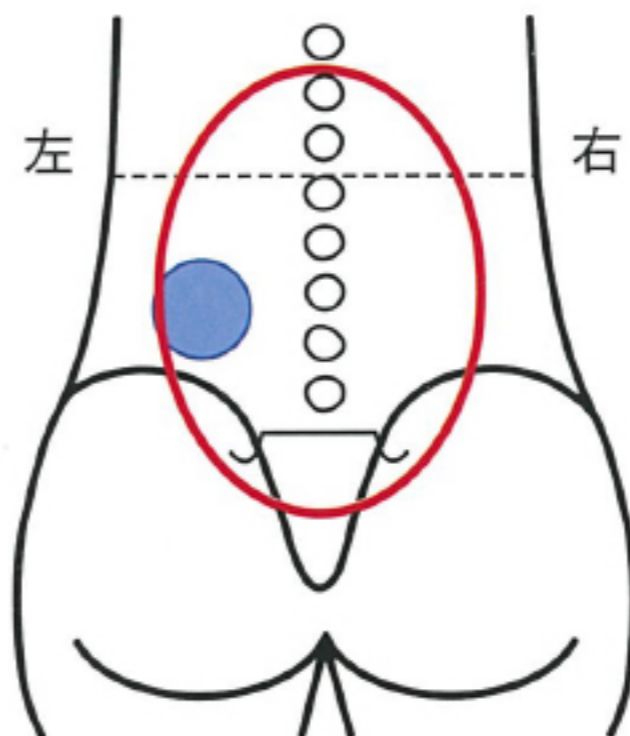
◎症例：62歳 女性 会社員

◎初診：平成X年10月10日

◎主訴：左腰が痛い。背中が痛い。

昨夜、腰から背中が痛み全く眠れなかった。歩行も困難な状態だった。

◎評価：診察所見から、急性腰痛症と判断した。



● 圧痛部位

○ 疼痛域

結果

3日間、計3回のはり治療で完治した。

事例20

腰の痛み

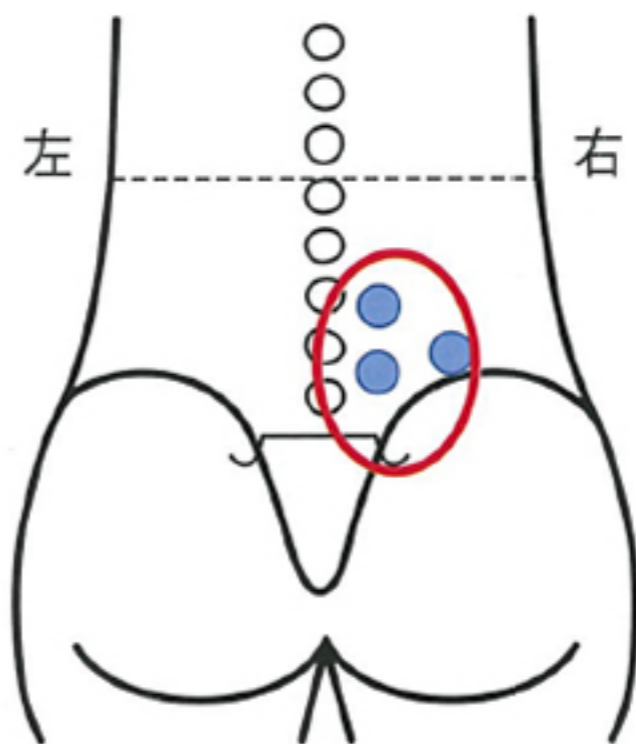
◎症例：42歳 女性 会社員

◎初診：平成X年10月16日

◎主訴：右腰が痛い。

一昨日、椅子から立ち上がったところ急に発痛。昨日より痛みはやや軽減しているものの直立はできない。痛みのため傘を杖代わりに前傾姿勢にて来院。2年前にも同様の症状あり。

◎評価：発症状況・症状・疼痛部位・診察所見から、筋・筋膜性の急性腰痛症と判断した。



● 圧痛部位

○ 疼痛域

結果

1回のはり治療で症状は消失し、直立歩行できるようになった。

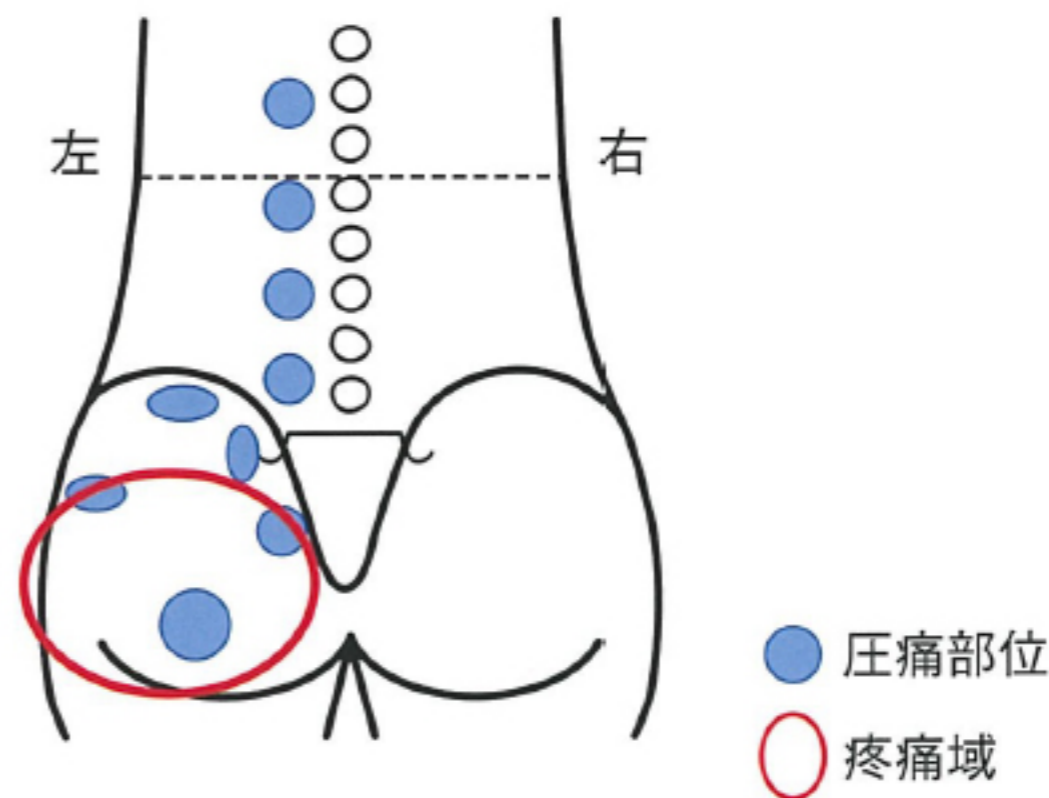
事例21

腰の痛み

- ◎**症例**：62歳 女性 主婦
- ◎**初診**：平成X年4月24日
- ◎**主訴**：左腰から左足が痛い。歩行が困難。

2年ほど前から親の介護や孫の世話で疲労が重なり、左腰から大腿部にかけての痛みが増強、歩行困難な状態であった。来院時は家族の歩行介助が必要だった。

- ◎**評価**：症状や疼痛部位の診察から、腰部・臀部の深層筋部の強い拘縮による広範囲の疼痛と判断した。



結果

1回のはり治療で自立歩行可能となる。左右の歩行差も認められなくなり、坂道歩行にも自信を持った。

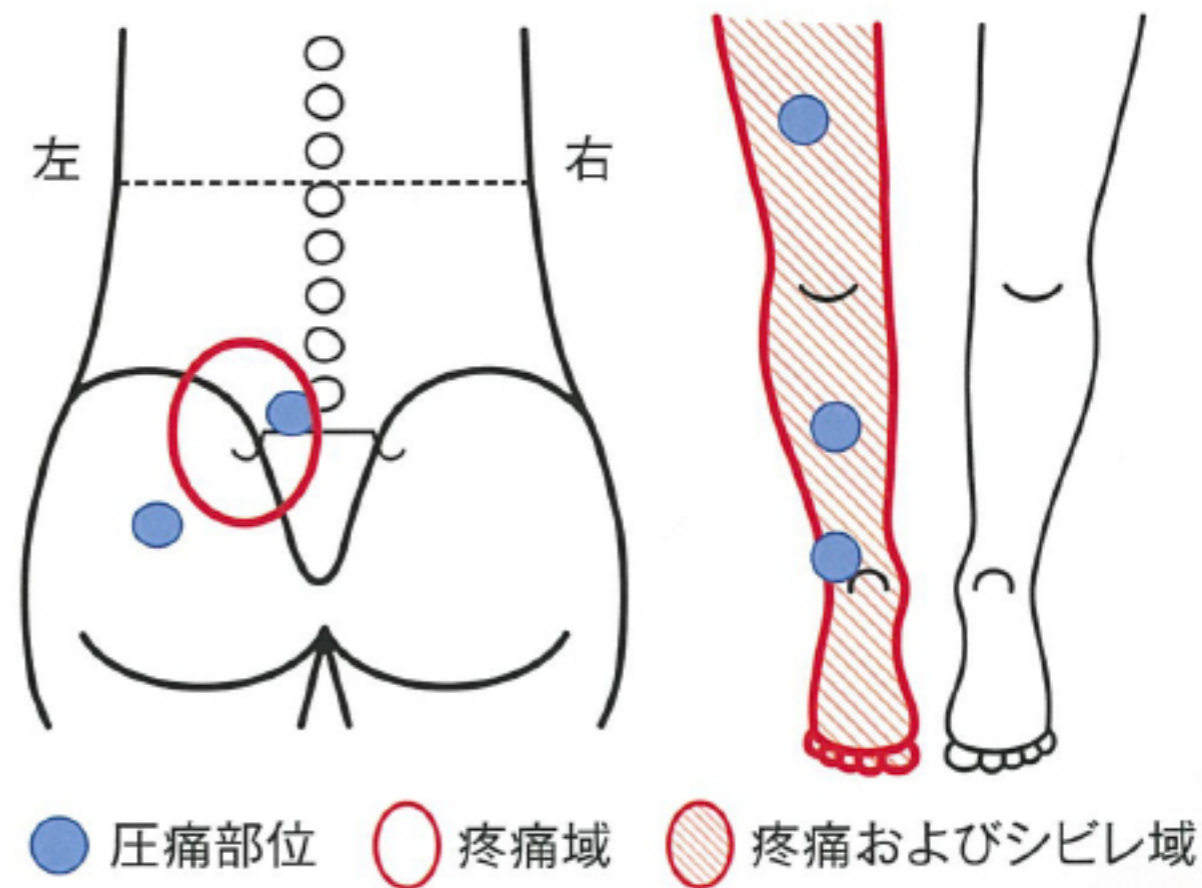
事例23

腰痛と下肢のシビレ

- ◎症例：34歳 男性 土建業
- ◎初診：平成X年4月6日
- ◎主訴：左腰が痛い。左下肢が痺れる。

10年前、腰椎椎間板ヘルニアで入院の既往がある。半年前から強い左腰痛が再発し、左下肢の神経症状も出現。病院で硬膜外ブロック注射を受けたが改善せず、来院した。

- ◎評価：年齢・疼痛部位・診察所見から、腰椎椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛と判断した。



結果

25日間、計10回のはり治療で
症状は緩和した。

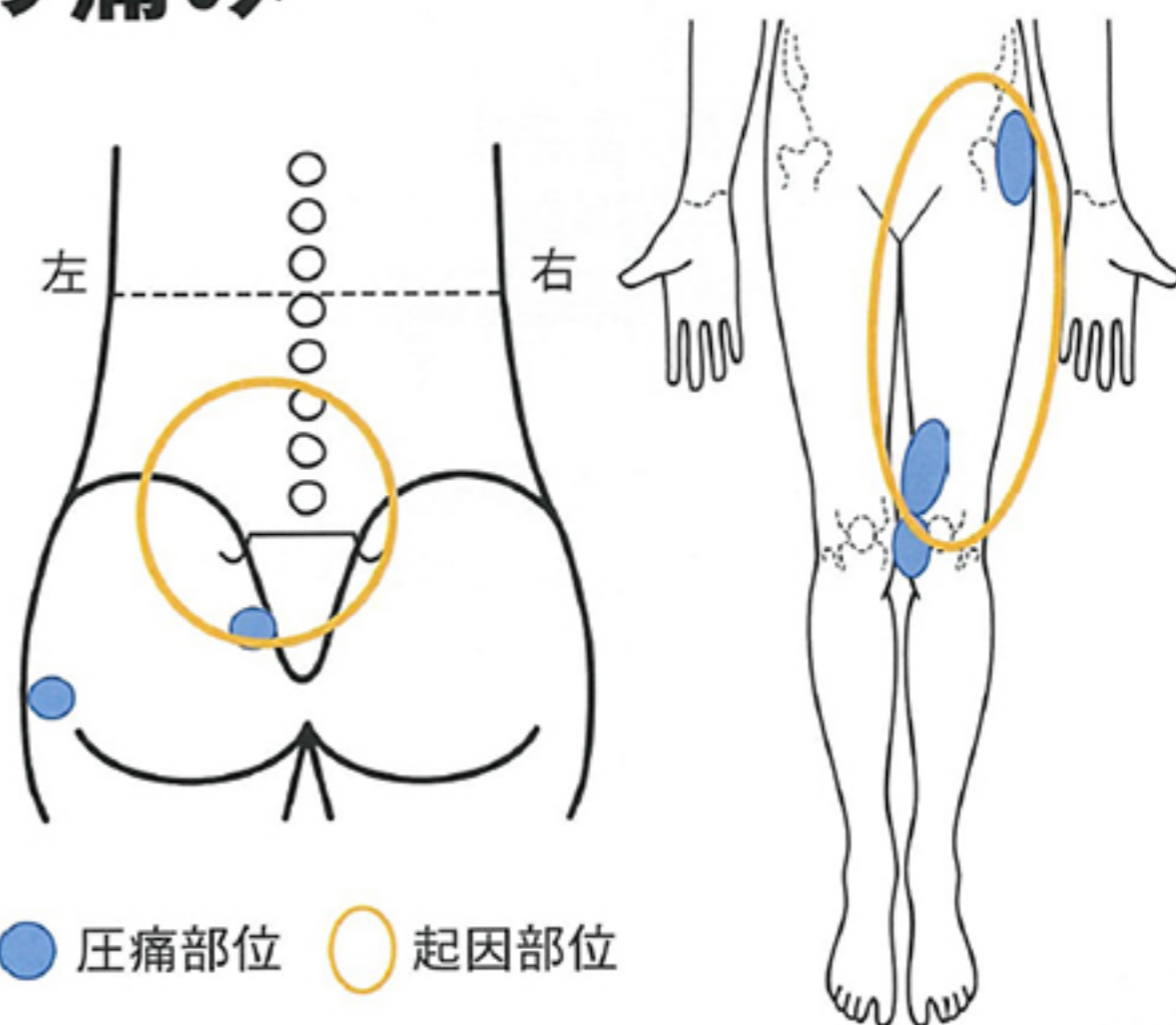
事例26

膝の痛み

- ◎症例：60歳 男性 自動車整備士
- ◎初診：平成X年10月14日
- ◎主訴：左膝が痛い。

半年ほど前から左膝関節痛出現。整形外科・整骨院等受診するも改善せず、痛み持続。

- ◎評価：診察所見から、仙腸関節や大腿筋群起始・停止部腱付着部の何らかの障害に伴う下肢近位筋群の機能障害により、左膝関節への過負荷がもたらされていると判断した。



結果

45日間、計8回のはり治療で
症状は緩和した。

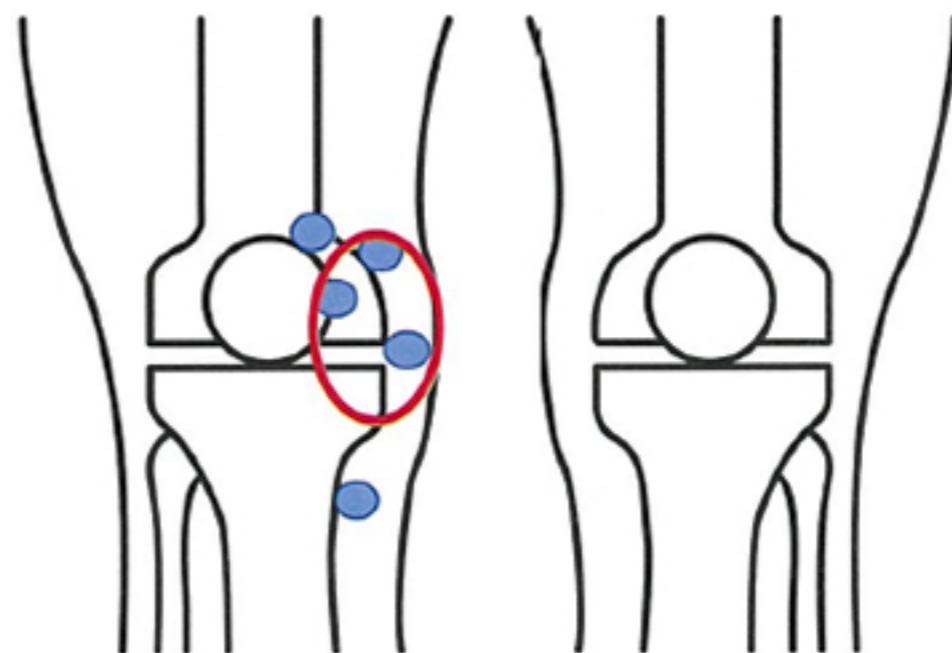
事例27

膝の痛み

- ◎症例：57歳 女性 主婦
- ◎初診：平成X年8月3日
- ◎主訴：右膝の内側が痛い。(動作時)

身長160cm、体重48kg。3ヶ月前から右膝内側が軽度に痛むようになった。1ヶ月前、階段を踏み外して以来痛みが強くなる。整形外科では老化からくる軟骨の摩耗と診断、特に処置は受けず、湿布とサポーターをしている。

- ◎評価：症状・問診・診察所見から、変形性膝関節症と判断した。



● 圧痛部位 ○ 疼痛域

結果

34日間、計18回のはり治療で圧痛部位は全て改善した。

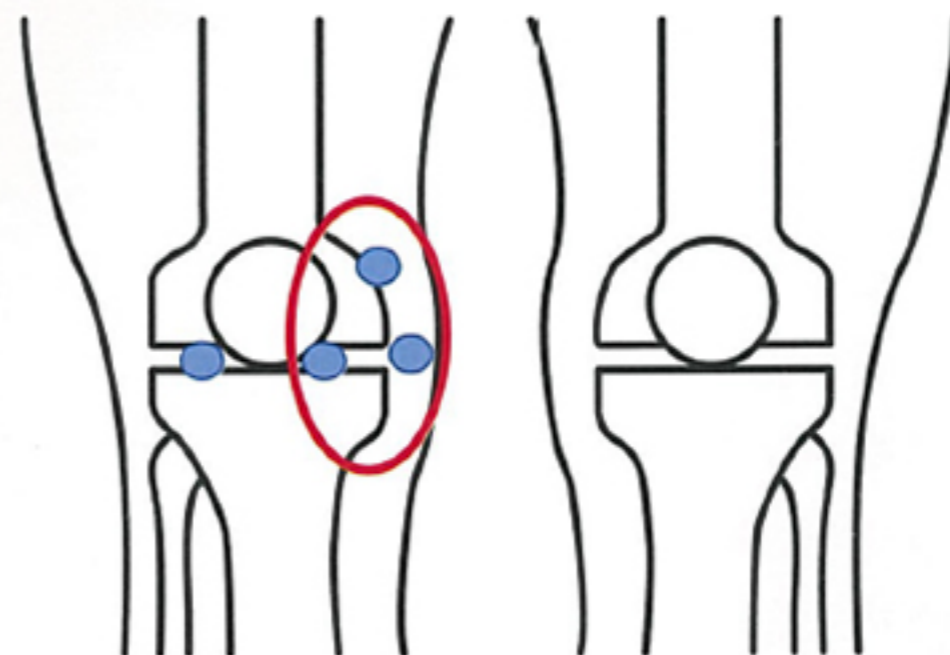
事例28

膝の痛み

- ◎症例：62歳 男性 会社社長
- ◎初診：平成X年10月12日
- ◎主訴：右膝の内側が痛い。(動作時)

身長180cm、体重79kg。1年ほど前、自転車のサドルの高さが合わないまま100kmほど走行。以降、歩行時と正座時に右膝の内側が痛む。以後、症状の寛解と増悪を繰り返す。

- ◎評価：症状・問診・診察所見から、右膝関節炎と判断した。



● 圧痛部位 ○ 疼痛域

結果

計3回のはり・きゅう治療、特にきゅう治療が奏功し痛みが軽減した。

事例32

耳鳴り

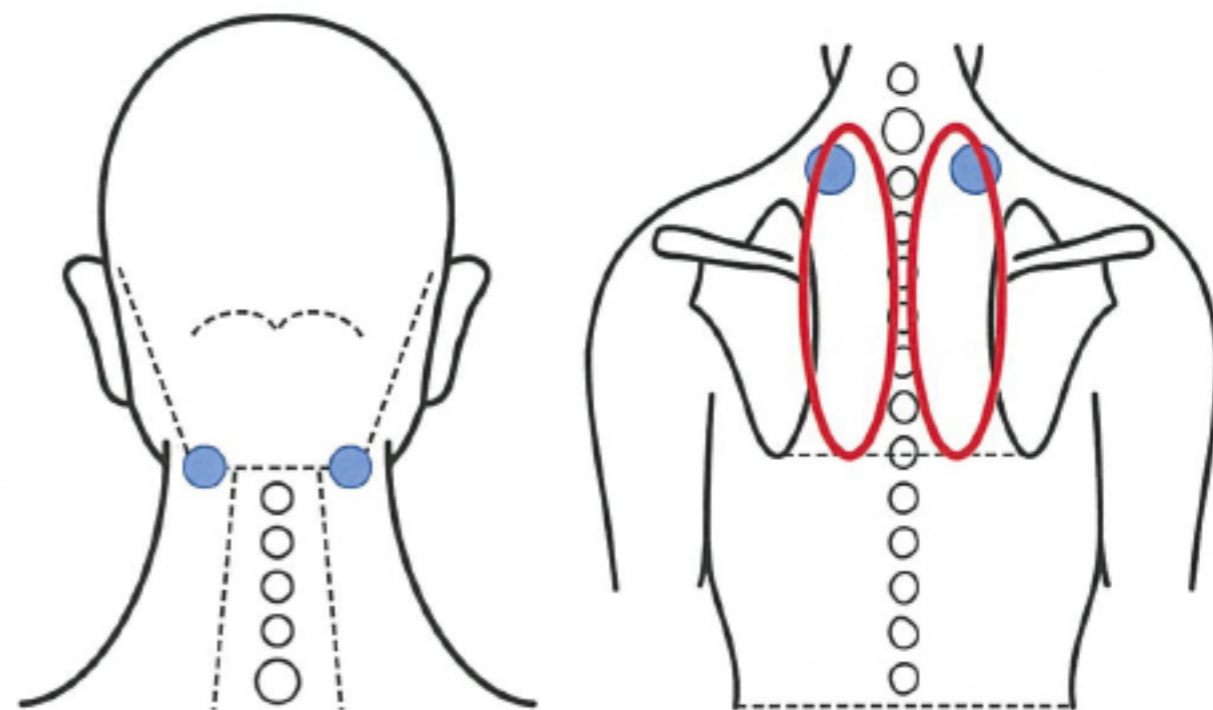
◎症例：41歳 女性 会社員
(オペレーター)

◎初診：平成X年10月23日

◎主訴：右耳鳴りがする。

約1ヶ月前、右耳の突発性難聴を発症した。耳鼻科で処方されたステロイド剤を服用し難聴は改善されたが、朝から夜までずっと耳鳴り(キーンという高音)が残存した。18歳の時にも突発性難聴で入院したことがある。

◎評価：突発性難聴により併発した耳鳴りと判断した。



● 圧痛部位 ○ 筋緊張

結果

2回のはり治療で耳鳴り音が小さくなった。耳鳴りが気になり音楽を聴きながら眠っていたが、音楽なしでも眠れるようになった。

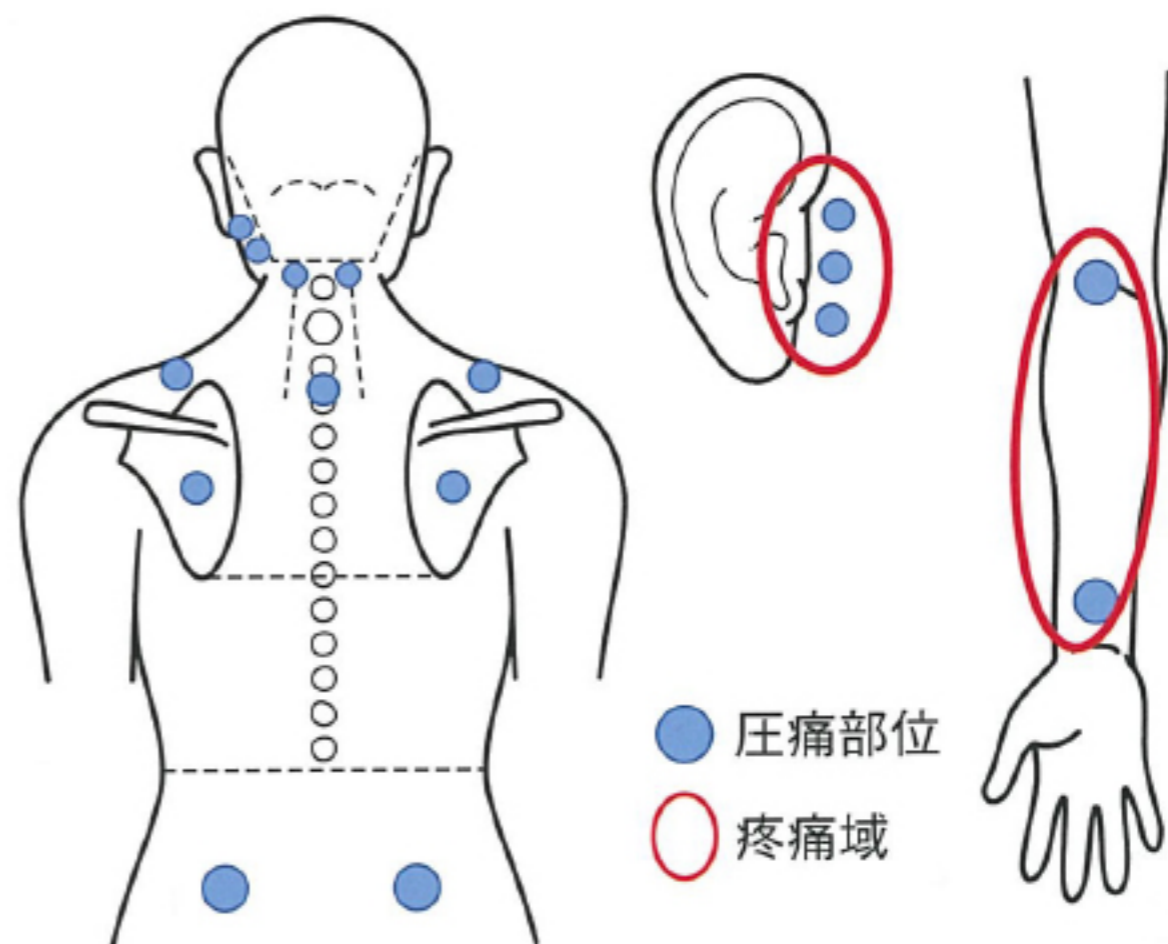
事例33

耳鳴り・眩暈（めまい）

- ◎症例：47歳 女性 会社員（事務職）
- ◎初診：平成X年10月3日
- ◎主訴：右耳鳴りがする。眩暈がする。

約1ヶ月前、右耳鳴り・眩暈を発症した。病院を受診しメニエール病ではないと診断される。耳鳴り・眩暈に対し内服薬を処方されたが改善なし。

- ◎評価：頸肩部の硬結・血行不良による、耳鳴り・眩暈と判断した。



結果

約30日間、計8回のはり治療で耳鳴りの音が減弱、眩暈も軽減した。

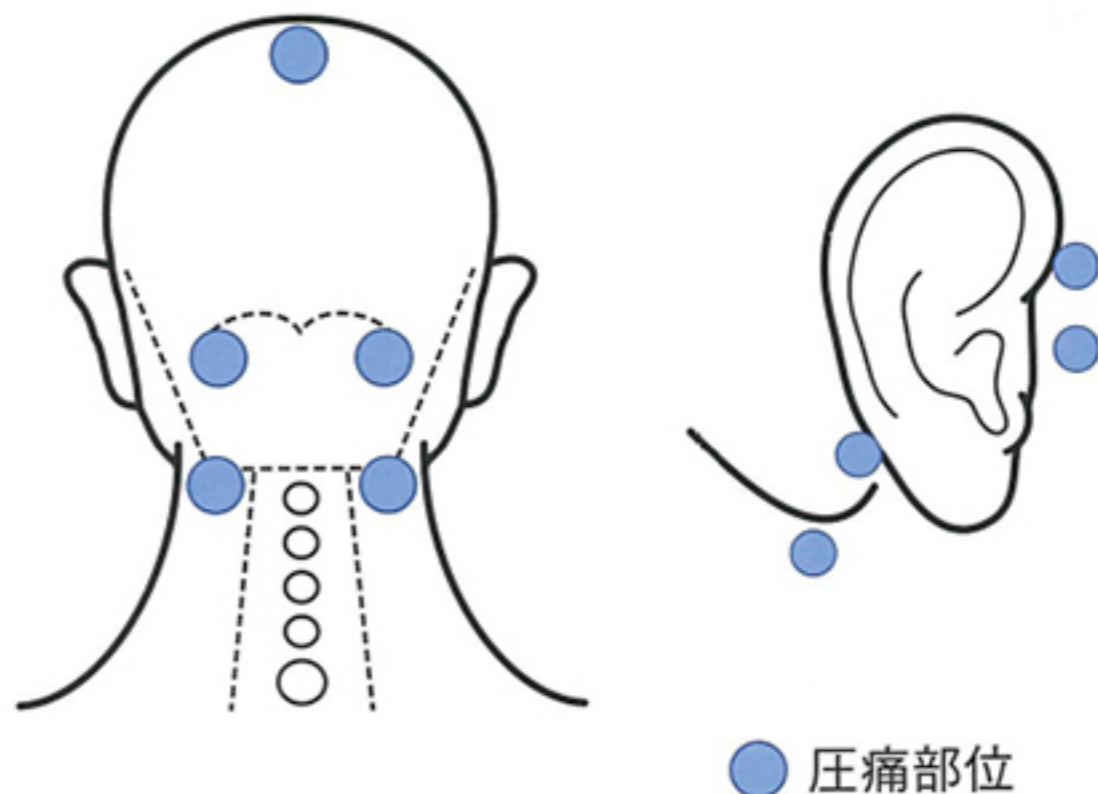
事例34

耳鳴り・難聴・眩暈（めまい）

- ◎症例：74歳 男性 自治会役員
- ◎初診：平成X年9月18日
- ◎主訴：右耳の耳鳴りと難聴、眩暈。
歩くとフラフラする。

40代に回転性の眩暈の既往歴がある。8月30日に症状が出てから耳鼻科に15回ほど通院し、少し改善した。「キーン」や「ゴー」という耳鳴りと詰まったような感じの難聴があり、歩行時にふらつく。右側に身体を傾けると症状が増悪する。8年前に同症状で来院している。

- ◎評価：自治会の仕事による強いストレスと疲労からくる耳鳴りと難聴、眩暈と判断した。



結果

50日間、計8回のはり治療で症状は改善し、日常生活で不自由を感じずに過ごせるようになった。